

お宝発見！びっくり仰天！

先生みーつけた？



船橋 靖博

FUNAHASHI, Yasuhiro

化学専攻 教授 [生物無機化学 錯体化学]

出身地：愛知県（小牧市）

Character Point !!

学生時代のあだ名：部活では「バジヤ」（ジャージがバジヤマっぽかったため）

研究室では「ハムさん」（「船」の漢字から）

好きな食べ物：ごはん、ラーメン、お肉、甘いもの、鰻と寿司、その土地のおいしいもの

休日の過ごし方、趣味：休日はダラダラ、おっさんぽ

船橋研の研究紹介

船橋研は“生物の無機を化学する”研究室です。

生体内で重要な役割を果たす金属蛋白質の働きを理解し、その活性部位に含まれる遷移元素の化学に注目しています。そこで以下の2つのアプローチで研究を行っています。

- ①無機化学を駆使したモデル化合物の合成
- ②生化学や単結晶のX線回析などを駆使した蛋白質の解析

これら2つのアプローチにより、生体内の遷移元素の化学反応の解明と、その新たな可能性を追求しています。

詳しくは「[船橋研ホームページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW

突撃！インタビュー

Q. 船橋先生の成功の秘訣は何ですか？

僕はわらしべ長者なんです。この話は、主人公が偶然掴んだ菓をどんどん物々交換していくことで、最終的に素晴らしい宝を手に入れるという物語です。この話の根底にあるのは、すべてに計画性があって思い通りに物事を進めているわけではないということです。でもわらしべ長者が成功したのは、彼がそれぞれの瞬間でベストを尽くしたからなんです。だから僕は、何でも自分でできるとは思っていない、いろんなことが影響あって、そんな中で常に自分なりにベストを尽くしてきたというのが、僕の成功の秘訣なのかもしれないと思っています。

Q. 大学時代の水泳部での思い出を教えてください

午前中 5000 m、午後 5000 m 泳ぐという水泳部のメニューがあったんですけど、僕は午後に学生実験があったので午前中に 10000 m 泳いで、午後は実験をやって、夜にはレポートを書いて。特につらかったのは 10000 m 泳いだ後に実験を行って、そのまま徹夜して、また朝 10000 m 泳いだ時ですかね。でも、その経験があったので、その後もそれよりつらいことはあんまりなくて。それで研究室に入っても、体力的にはきついと感ずることがなかったのは良かったかな…。(でも、無茶はやめましょう。)

Q. 英語が話せるようになるには？

僕も完璧に話せるわけじゃないけど、今は国際交流委員というのをやっていて、留学生の指導もしていて、英語を使わなければならない立場だから英語ができないとまずいです。若いときからそうでしたけど、僕は実際に必要に迫られて現場で英語を覚えたという感じです。皆さんは留学に行ったり留学生と交流する場に行ったりと自分から英語を使う場に行って、そこで英語を習得するのがいいと思いますよ。

SCHEDULE

とある1日のスケジュール

- 07:00 起床
- 09:15 大学到着
- 10:30 授業
- 12:00 お昼
- 13:30 研究室内の打ち合わせ、または委員会などの会議
- 18:30 セミナー
- 23:00 大学を出る
- 24:00 就寝



MY FAVORITE

先生ってどんな人？先生のお宝を調査！



初めてアメリカの学会に参加したときの思い出！「記念コップ」



“生物無機-Bioinorganic”の用語は、既成の概念を越えて進んでゆくさまを示します。
「BIOINORGANIC CHEMISTRY OF COPPER」
(出版社：CHAPMAN & HALL)



空気に弱い試薬を用いて実験するときに使う、とても高価な装置！「グローブボックス」

MESSAGE

先生から皆さまへ

化学は広い。この世界の様々なことと繋がっています。基礎を学んだことに誇りと自信を持ち、新たな物質や、解明または解決されていないことに挑戦したり、社会に貢献したりして、楽しい人生を送ってください。



MOVIE

インタビュー動画
YouTube にて公開中！



編集後記

失敗してもなお実験が好きで、学生実験では失敗記録も余す所なく取っていたそうです。今できるベストを尽くすことの継続は重要だなと身に染みました。



理学部数学科
編集者 Y.T.

水泳部に所属しておられた学生時代のスケジュールにびっくり！2日徹夜しても平気だったそうです！やはり研究は体力勝負なのだなあと感じました。



理学部化学科
編集者 N.M.

大学の先生というイメージとはかけ離れたガッツがあって部活の先輩を思わせるような先生でした！お話しできてとても楽しかったです！



理学部生物科学科
編集者 H.A.

Thank you for reading...

インタビュー日 2021.09.03